

「わたしは水で洗った水が飲める水は、わたしの命に水を注ぎます。」
ヨハネ4章14節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869
FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

8月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ① 一般の意向：世界青年の日
- ② 布教の意向：永遠の都で養成される者の霊的充実
- ③ 日本教会の意向：平和への願いをこめて

※免償とはすでにゆるされた罪に伴う有限の罰の免除(軽減)です。

(D) それも不可能な人々は、免償に必要な行為を通常の方法で果たす人々に心を合わせること望み、三つの通常の要件を速やかに果たす決意をもって、あわれみの神に自分の病と困難な生活をささげること全免償が与えられます。
(カトリック中央協議会事務局訳を参考にしました)

(C) 病氣その他正当な理由で感謝の祭儀に参加できない者は、自分の家、または本人がとどまらざるをえない場所において、全免償が得られます。ただしこのよう人々には、通常の三つの条件(訳者注：聖体拝領・ゆるしの秘跡・教皇の意向のための祈り)を満たすことができるようになった場合、速やかにこれらを実行する意思が必要となります。

(B) 聖職者、奉獻生活と使徒的生活の会、「教会の祈り」による典礼の朗誦義務を負う信徒たち、さらに「教会の祈り」をけいけん信心をもって祈ることを習慣としている信徒は、聖ひつにいます主の前で「教会の祈り」の中の「晩の祈り」と「寝る前の祈り」を行うたびにごとに全免償が与えられます。

(A) 通常の要件(罪の傾きから完全に離れようとの意思のもとでの、ゆるしの秘跡、聖体拝領、教皇の意向のための祈り)のもとで、聖体への礼拝を行う聖なる典礼にあずかるたびにごとに全免償が与えられます。

前教皇ヨハネ・パウロ2世は、2004年10月7日付の使徒的書簡『主よ、一緒にお泊まりください』によって、全教会が「聖体の年」と呼ばれる特別な年を祝うよう定めました。

さらにこの1年を通じて、信者が神聖な「信仰の神秘」へのより深い知識、いっそう大きな熱愛と霊的実りを得るよう奨励するため、教皇は、12月17日の謁見において、以下に署名した内教院審査官を奨励し、次に記す聖体への特別な礼拝行為に対して免償を与えることをお望みになりました。

聖体の年に与えられる免償(抜粋)

平和祈願祭 2005.8.9

被爆六〇周年

▶たいまつ行列
集合：午後7時(天主公園)
行列：午後7時30分～

▶平和祈願ミサ
午後8時～(平和公園)

主催 カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会

2005年8月 地にしみこむ平和への祈りを

カトリックセンターでは、7月25日(月) 高見大司教司式による祝別が工事関係者、ユース関係者、教区代表者の参加のもとで行われた(写真)。

従来の宿泊部門に加え、6階の一部をユースホステルとしたためである。

世界中に5000、日本に350あるユースホステルの仲間入りは、カトリックセンター改革の一つである。その目指すところはカトリック信者であるなしにかかわらず、より多くの人々に宿泊を通して宣教の場を提供するもの。低料金で朝食無料サービスである。

一人て泊まるのもよし、家族そろって泊まるのもよし、団体では100人まで可能である。

カトリックセンターユニークな

今はまだ、外部向けには毎日オープンしていないが、レストランもカトリックセンター直営となる(会議後や団体の食事注文は随時受け付けている)。将来は観光客の方々やミサ帰りの信者さんたちが、気軽に立ち寄っていただけるオープンカフェを目指していく。会議室もホールも今まで通り利用できる。

無料サービス(税込・朝食)
一般 3700円
キリスト教信者 3200円
ユースホステル会員 2700円(相部屋)
※子供(4歳・中学生)は右料金から500円引き
※セルフサービスシステム



③教皇さまの意向のために祈る



①ゆるしの秘跡にあずかる

免償を受ける通常の要件を理解しましょう。

「三つの通常の要件」と言われるものは、

- ①ゆるしの秘跡にあずかること
- ②聖体拝領をすること
- ③教皇さまの意向のために祈ること

です。教皇さまのための意向については、「よきおとずれ」1面、また教会の掲示板に「祈祷の使徒会」からのポスターが貼られています。この意向は毎月決められたものが用意されていますので、気を付けておきましょう。



②聖体を拝領する

助祭叙階式

司式 高見三明大司教
日時 9月4日(日) 午後3時
場所 浦上司教座聖堂
助祭受階者
洗礼者 ヨハネ 汐留 義和(桐教会)



助祭叙階式 受階者のために祈りましょう

助祭職は叙階の秘跡の第一段階であり、聖務日課(教会の祈り)を唱え、祭壇で公に説教をし、洗礼式や結婚の秘跡の司式を行い、病人に聖体運ぶなどの務めが託される。

ミサをささげたり、ゆるしの秘跡などの主要な秘跡は行えないものの、聖職位階の重要な一歩であるので、教区みなでの祈りによる支えが欠かせない(写真は参考)。

でも46人の平戸北松地区の子供たちを迎えた初聖体式に、会場内は大きな喜びに溢れた。高見大司教は説教の中で「私たちは大変なお方を体の中にいただくのです。とてつ

祈りは感動的で、感激した参加者の中には涙する者もあった。聖体の年という恵みの中、ザビエル生誕500周年を迎える来年に向けて有意義な記念行事となった。



供たちの純粋で飾らない言葉で発せられる子供たちの

長崎教区主催
平戸ザビエル祭
7月10日 午後2時より、「平戸ザビエル祭」が盛大に開催された。会場の平戸文化センターには約1000人の信徒が集まった。聖体

もない大きな喜びです」と子供たちに力強く呼び掛けられ、それに答えて保護者と共に壇上に上がった初聖体者は、大きな声で洗礼の約束の更新をし、司教さまから手渡された初めてのご聖体の味をかみしめた。

「教区内の知恵を分かち合う」ということです。平たく言えば、ある教会ですでに取り入れて効果を上げていることでも、その取り組みがあることさえ知らない教会もあるのではないかと、この差を埋めたいということですが、日曜日のさい銭を計算して記録するのに、間違っ

「ほしかげ」を書いておきます。3ヵ月続けているうちに、一つの行動を起こしたくなりました。「教区内の知恵を分かち合う」ということです。平たく言えば、ある教会ですでに取り入れて効果を上げていることでも、その取り組みがあることさえ知らない教会もあるのではないかと、この差を埋めたいということですが、日曜日のさい銭を計算して記録するのに、間違っ

聖体の年—「私とご聖体」⑩

「ご聖体をもらって

「ご聖体をもらって思っていることは、小さなご聖体の中にいっぱいお恵みがつまっているんだなあと思いました。イエスさまは、ご聖体だけでなく身のまわりにも、お恵みをたくさんくださっているのががんばって教会に行きたいなと思いました。」

今年はご聖体の年なので、ご聖体についていっぱい知りたいです。私たちは、ご聖体の年ということ意識してもらいたいなあと思ひ、みんなでご聖体の絵を作成しました。その絵をもとに頑張ろうと思ったことは、今まで以上にイエスさまがいっしょにいてくださり、目に見えないけどお恵みをたくさんくださっていることに、ありがたうの気持ちを忘れないで、がんばっていききたいと思っています。

自分だけのことをがんばるのではなく、教会からはなれている人、病気で教会にこれない人、何らかのじょうで教会にこれない人のためにもこのご聖体の特別な一年に、必要なお恵みがそがれるようにお祈りができたらと思います。

山下菜々美 (井持浦教会中学1年)

「ご聖体について

私はご聖体について、考えたことはありませんでした。いつもミサではふつうにご聖体を食べいて、ご聖体のことは、あまり考えないで食べていました。だけど、2日間のもく想会でご聖体について分かってきたことが二つあります。

まず一つ目は、ご聖体はイエスさまと思つて食べていたけど、ご聖体はイエスさまの体ということが分かりました。イエスさまとイエスさまの体と思つて食べることで、ぜんぜんちがうと思いました。

そして、二つ目は、ご聖体をもらう時に、あまり、何も思わないで食べていたけど、ご聖体には、イエスさまの思いがたくさんもつていて思ふので、もう少しありがたうの気持ちをこめてご聖体を食べたいと思ひました。

私は、この2日間のもく想会でご聖体について考えさせられました。ご聖体は、わたしらしんじやにとつてとても大切だと思いました。

宿輪理沙子 (奈留教会小学6年)

平和への思いを
子供たちに託して
「平和巡礼2005
NAGASAKI
」母と子、未来への
祈り」



聖体の年も残りわずか。各地区、各小教区、個人的にそれぞれの立場で聖体への信仰を深めましょう。

「平和をつくる
子ども交流
プロジェクト」

▽浦上 深井健太郎(6) 岩永 夏希(6)
▽本原 片岡 史弥(4) 片岡 美希(6)
▽西町 岡田 知里(5) 綾部満里奈(4)
▽城山 牧島 頌(5) 辻原 美咲(4)
いづれの子供も祖父または祖母が被爆者

「聖地のこどもを支える会(井上弘子NPO法人代表者)が招くイスラエル、パレスチナ、日本3国の「平和をつくる子ども交流プロジェクト」の長崎日程が決まった。▽8月7日午後4時、爆心地での献花の後、高見大司教表敬訪問・歓迎

会(カトリックセンター)▽8日長崎市長表敬訪問、英語による被爆講話、原爆資料館見学、「全国高校生平和集会in長崎」参加、午後7時・原爆殉難者「慰霊祭」参加▽9日原爆遺構見学、午前10時・原爆犠牲者慰霊平和祈念式典参加、夜「平和の灯」参加▽10日午後4時「語らいの夕べ」(ウエルシティホール)▽11日午後羽田へ

平和へのあこがれ(投稿記事)

まっ青な空、新緑の森、遠くの山に光る残雪。風のそよぎ、鳥の声、のどかに聞こえる教会の鐘の音。これからも大切にしたい穏やかで平和な日々と日常のたたずまい。

しかし60年前日本に平和はなかった。戦争でたくさんの命が失われた。極め付きは8月9日、何の予告もなく、長崎の街に原爆が落とされた。すさまじい爆風と熱線・放射線に焼き尽くされた街と奪われた夥(おびただ)しい人の命。

私事です母は当時33歳、父は亡くなり5人の子供を抱えた母子家庭でした。食料も底をつき、当日は朝から浦上方面に買い出しに出たまま帰らなかった。その後一切消息はなく、もちろん遺体も遺留品も皆無。家は壊れて住む当てもなく、子供たちは文字どおり路頭に迷い、途方に暮れた。助けを求めた親戚や隣り近所からも見捨てられた。

しかし捨てる神あれば、拾う神有り。私たちに救いの手を差し伸べてくれたのは、お寺の住職と神父・修道者方だった。おかげさまで困難な終戦前後の年月を飢えることなく成長し今日に至っている。

平和っていいなあ、これからもずっと平和であって欲しい。誰でもそう思う。しかし平和を妨げる戦いやテロが世界で頻発している今日、私たちに何ができるのか戸惑いを隠せないと思う。でも自分なりに一つ言えることは、前の教皇さまの広島での発言「戦争は人間の仕業です」、このお言葉こそ平和の原点だと思う。

戦争は自然災害ではない、国家民族間の反目で起きる人災である。そうならば人間の努力で未然に防ぐ事ができると教えられたのではないのでしょうか。そのために平和行事や運動がある。俗に反戦反核というのがこれは決して一部の人々の“専売特許”ではない、教皇さまをトップに頂く我々信者が誰よりも取り組むべき課題であり、戦争や迫害のない平和な世界の実現に向けて、理解と協力を惜しむことなくまい進しましょう。みんな仲良く平和な空の下で暮らし、日本や世界の恒久平和を祈りましょう。

峰 徹(浦上教会信徒)

平和スローガン

平和は福音宣教のキーワード、被爆地長崎から発信しよう世界の平和。

エイズポスター 作品募集

- ◆内容 エイズに関するもの全般
- ◆サイズ A4～A2判
- ◆部門 ①高校生以下②一般
- ◆応募方法 作品裏面に必要事項を明記の上、事務局まで郵送。
- ◆締切 2005年8月31日(当日消印有効)
- ◆応募規定 応募作品は自作未発表のものに限ります。応募点数制限なし。作品ごとに裏面に氏名・年齢・住所・電話番号・学校名と学年、勤務先、所属している教会があれば教会名、部門(①か②)を記入。
- ◆主催 カリタスジャパンHIV/AIDSデスク
- ◆応募・問合先 エイズポスター コンテスト事務局
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
日本カトリック会館 HIV/AIDSデスク
(FAX) 03-5632-7920
Eメール hivaida@cbcj.catholic.jp
- ◆発表 2005年9月23日。「カトリック新聞」紙上で発表。
- ◆審査 入賞者本人に通知。
宮原良治司教ほか関係委員

長崎大司教区
●黒崎隆一様(相浦)
故マリア黒崎アサノ様
長崎コレジオ
●辻 末人様(飽の浦)
故トマス辻 智教様
長崎カトリック神学院
●谷川美佐子様(飽の浦)
故ヤコブ谷川 昇様
右の方々から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

長崎大司教区
●黒崎隆一様(相浦)
故マリア黒崎アサノ様
長崎コレジオ
●辻 末人様(飽の浦)
故トマス辻 智教様
長崎カトリック神学院
●谷川美佐子様(飽の浦)
故ヤコブ谷川 昇様
右の方々から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

香典返し
お礼とご報告

TEL 095(842)4450
●福者カミロ・コンスタンツォ殉教祭 9月18日(日)14時 田平町焼罪跡公園
●聖トマス西と15殉教者ミサ 9月25日(日)14時 長崎市西坂公園(みことばの祭儀)・行列・中町教会(感謝の祭儀と聖体賛美式)
●第30回大村殉教祭 10月2日(日)14時 大村市民会館 問合先・植松教会 TEL 0957(52)2256

墓地改修・新設

法定手続・計画・施工
主な施工実績 城山教会墓地、浜申教会墓地、
飽ノ浦教会墓地、青砂ヶ浦教会墓地

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 浜本 直行

本社 長崎市つつじが丘5-1-15 095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

☆ 建物の内部・外部でのお困りの箇所等がございましたらお気軽にご相談ください。【御見積無料!】
※ 修繕・補修(雨漏り、水廻り etc...) 取付・取替(バリアフリー、カーテン、ブラインド etc...)



株式会社 杉山内装

代表取締役 ペトロ 杉山 富雄
事務所 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 540-2
TEL 095-882-6700

チケット発売中

能による被爆六十年の夕べ

長崎の聖母

Aブロック前売券6000円(当日券7000円)
Bブロック " 5000円(" 6000円)
Cブロック " 4000円(" 5000円)

会場 浦上天主堂(長崎市本尾町)
取扱先 浦上教会・浜屋プレイガイド・
ローソンチケット・チケットぴあなど
主催 純心女子学園・カトリック浦上教会
問合せ 長崎純心大学生涯学習センター
〒852-8558 長崎市三ツ山町235
☎095-846-0102

豊かな緑と眼下に広がる琴の海

社団法人 西部長崎共同墓地公園

事務局 ミカエル 大田 力
西彼杵郡時津町々々川郷172番地
TEL FAX 095-884-1817

(医) 外尾内科医院

院長 ヘトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

原爆・戦争犠牲者の追悼「墓石」長崎出発



原爆や戦争の犠牲者を追悼するため、墓石に見立てた重さ約700kgの巨石「写真」を人力で引きながら長崎―広島間を歩く「ストーンウォーク」(米国の2団体が主催)の出



出発式で高見大司教(写真)は、「特にピースフルトウモロコシ(米中核同時テロの遺族でつくる会)の方々の考

発式が、7月2日10時半から長崎市の爆心地公園で行われ、約2000人が参加した。

するのではなく、ひたすら和解と平和を求めるように訴えています。私たちは心をひとつにし、平和の



宮原司教

沖に向かって漕ぎ出そう

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会総会

「沖に向かって漕ぎ出そう」今年度の聖ヴィンセンシオ会長崎中央理事会総会が7月17日、カトリックセンターで開かれ、県内9協議会に浦上教会のエリザベット

会員も参加「助けを必要としている人たちに愛の手を」のサブテーマを掲げ討議(写真)を行った。



ているカリタスジャパンの講演会開催の経緯を述べた。この日の基調講演に招かれたカリタスジャパン

長崎教区から救済金200万円を送ったスマトラ沖地震被災地・インドネシア・アチェ地区の神言修道会の司祭からこのほど高見大司教あてに礼状が寄せられた。

アチェ地区への寄付に礼状届く

長崎コレジオ神学生・一般の若者と混成で組むボランティア班を支えるバンコク市の女子パウロ修道会の阿部羊子修道女がこのほど一時帰国した。若者の現地の働き、反響を聞いてみた(写真)。

タイ派遣のボランティア支援

英語ミサの中で「初聖体」

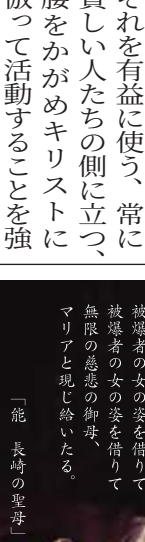
責任司教・宮原良治司教は、福祉活動の生い立ちから現状説明に入り、福

午後からは全体会議に続き各協議会の活動報告、感謝のミサで終わった。

見を経て山岳地帯の集落に入る。「初仕事は教会の共同トイレづくり、次にルルドでしたが、素人とは思えない出来栄です。最近の3

7月8日から10日にかけて佐世保青少年の天地で、フコカラー主催によるマリアポリが開催され、長崎をはじめ、北海道、福岡、大分、鹿児島、沖縄などから160人が参加(写真)した。

高見大司教も参加、参加者に向かって、交わりの霊性をそれぞれの場所へもたらすようにまねかれた。



「能 長崎の聖母」より

「能 長崎の聖母」被爆60年慰霊の夕べ 11月23日浦上教会

が主催する。23日は原爆で亡くなった信徒たちの合同葬儀ミサが浦上でさげられた日だったため、慰霊の夕べの開催をこの日に決めた。浦上では1万2千人の信徒のうち、8千5百人が亡くな

り、全域焦土と化した。「手に持った十字架の数の方が、集まった人の数より多かったのだ、みんな泣きました」と参加者の一人が記している。永井隆博士が生き残った人々を代表して弔辞を読

会の再建は信徒たちの魂の復興となった。「能 長崎の聖母」の上演は、日本の伝統芸術に浦上の被爆と平和への祈りを記録し、世界に発信することを願って計画されている。



原爆60年を迎えた長崎教区、昨年7月からこの7月までまる1年、随時原爆忌に関する委員会を重ねた。その中心的な役割を担ってきたのが浦上小教区評議会の議長。

当初、NHK、長崎市、浦上教会と三者の顔合わせから始まったが、途中で長崎市は政教分離の立場から共催者をはずれ

献堂、信徒発見140周年巡礼、原爆忌を前にした懸案の空調施設、平和祈願祭の取り組みなど、主任司祭平野神父との事前調整をはかり、被爆

じますが、信徒の目線での対応を「最優先」と考え実行しています。教会も大きく変わったという。「対面ミサ、福音宣教、開かれた教会、

より深まっていくのではと自問自答しています。8月9日の原爆忌を乗り切るまでのストレスはかつてないものを感じたとか。「生き残った被爆

者の一人として責任を果たすことができたことを神に、また関係者の皆さんに感謝している」と話す。

タイでのボランティア活動は今年で5回目、毎回7人前後の若者がまる10日間、司祭と同行する。コレジオの中心人物は、コレジオの前身調査を依頼し、その返事でコレジオの養成担当司祭の現地下

英語ミサは毎月第2・4日曜日の午後3時から川口神父司式で行われており、関係者は一般信徒の参列を歓迎して

会議は浦上評議会と長崎地区信徒使徒職評議会、NHKとの熱っぽい協議が続いた。本業の自動車整備工場を切り回す傍ら、議長として会議前の下準備、被爆マリア像小聖堂

60年を乗り切る体制を整えた。「浦上は7000人余の信徒の共同体です。それぞれの立場、価値観の多様化など、評議会運営の難しさを随所に感

信仰のあり方。でも以前と比べると、信仰を守りやすい時代に入ったといえます。積極的な外の働きも求められます。この行動が信者数の増減につながり、さらには信仰が

原爆死没者約8500人、その悲しみに応える被爆マリア像小聖堂献堂は実現したが、カテドラルをあずかる浦上小教区代表としての課題は、なお続く。長崎教区主催の平和祈願祭―「約束された事案の推進には実直な男」と司祭、信徒の信頼は厚い。

趣味は、囲碁、釣り。家族は妻ひとみさん、子供4人。60歳。辻町。

フィリピン人のお母さんを持つ小学3年長崎市の都町の佐々木竜君と西彼杵郡長与町に住む、フィリピン人のサトイト・シェリッサ・アンちゃん(写真)がこの

ミサを指導する川口清神父(大浦教会主任)の司式で行われ、関係者約30人が参列し、2人を祝福した。竜君とアンちゃんは、昨年4月から英語ミサをサポートする信徒の指導をうけ、この日初聖体式に臨んだが、両親の喜びはひとしおで、涙が溢れていた。初聖体のあと、信徒会館で司祭、参列者全員がテーブルを囲み、持ち寄った祖国の手料理に舌鼓を打った。

英語ミサは毎月第2・4日曜日の午後3時から川口神父司式で行われており、関係者は一般信徒の参列を歓迎して

6月21日、五島市聖マリア病院で帰天。久賀町出身。87歳。1933年入会、57年初誓願立、64年終生誓願立。創立間もない久賀修道院に入会。農耕海山あるいは日雇労働の中で祈りの生活を第一の務めとして宣教・証しを行い、修道院の基礎を築いた。長年に渡る闘病生活を送り、病床で祈りの人として会

川端ナツ修道女(お告げのマリア修道会)

深い興味を持って聞き入っていた。プログラムでは、ワークショップ、レクリエーションなどをはじめ、共

に交わりを生きながらひとつの家庭を築き、互いの愛を生きるとき、私たちの真ん中にイエスが現存されるという体験を味わうことができた。

